

- ①来場者で溢れる会場②浴衣を着ておめかし
- ③おいしそうにとうもろこしを食べる子ども
- ④屋台で食べ物を購入する来場者⑤花火の打ち上げを待つ3家族⑥どのお面を買うか悩んでいる浴衣姿の2人組⑦暑さを和らげるためにかき氷を頬張る子ども



# 御前崎みなと夏祭

夜空に鮮やかな大輪の花が咲く

「御前崎みなと夏祭」が8月5日、マリンパーク御前崎で開催され、約3万7千人が会場に足を運びました。

イベントは17時から始まり、「うまいみさき屋台村」では、市内の企業や飲食店など42店舗が食べものなどを提供。長野県高森町と山梨県中央市も出店し、桃や巨峰など特産物を販売しました。また、今回は、27店舗の露店も出店し、会場は大盛況。

メインイベントの花火の打ち上げは19時45分にスタート。打ち上げられた尺玉やスターマインなど約3千発の花火が御前崎の夜空を彩る様子はまさに圧巻の光景でした。花火が打ち上がると、「きれいだね」「これがなきゃ御前崎の夏じゃないね」と喜ぶ声が会場から次々と聞こえてきました。中には、「ドーン」と響きわたる轟音を体感し、驚きを隠せない子どもの姿も見られました。

来場者は「来年も御前崎の花火を見たいね」と余韻に浸りながら会場を後にしました。

